

■ デジタルものづくり対応支援事業（デジタル人材育成支援事業） 「デジタル人材育成支援事業」説明会

ものづくり中小企業が、次世代自動車のビジネスを獲得するためには、「デジタルものづくり」に取り組む必要があります。しかし、「デジタルものづくり」の導入及び活用には、「ヒト（人材）、モノ（設備・装置）、カネ（資金）、情報」が必要であり、中小企業では、特に不足しているデジタル人材の確保が課題となっています。

次世代自動車センター浜松では、中小製造業の「デジタルものづくり」推進のための支援事業として、スズキ株式会社様のご協力をいただき、スズキ㈱様のスマートファクトリー構想の中で実施された内容を教材に、テーマを絞って研修を実施するデジタル人材育成支援事業を実施しています。

今年度は、これまで実施した「市販AIセンサを使った品質検査」に加えて「作業分析AIツール「011o Factory(*)」による作業改善」をテーマとしたトライアル事業を実施することといたしました。（*作業動画をAIが分析し作業手順のばらつきやムダを可視化する製造業向けソフトウェア）

今回、まずは、スズキ協力協同組合の皆様を対象に、株式会社011o様を講師に迎え「011o Factory」の概要や機能等を解説していただく説明会を開催しました。

■日 時： 2026年7月15日（水）10時～12時

■場 所： 浜松マリオットホテル

■参加者： 13社／39名

＜開会＞



＜デジタル人材育成支援事業説明＞



＜(株)011o様：概要説明＞



＜質疑応答＞

